



WEEKLY REPORT

郡上八幡ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー第 2630 地区
東海北陸道グループ

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：西川 昇
副 会 長：村土時男
幹 事：岩尾 誠
広報委員長：森下 光
会報担当者：國田大雄・前田伊三夫

2017 年度国際ロータリー会長：イアン・ライズリー (Sandringham ロータリークラブ・オーストラリア)
2017 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー：変化をもたらす)

<本日のプログラム>

第 2550 回 平成 30 年 3 月 22 日 第 4 木曜日
会員卓話
林 健吉会長エレクト

<次回の予定> (第 2551 回は定款により休会)

第 2552 回 平成 30 年 4 月 5 日 第 1 木曜日
外来卓話
名古屋昭和 RC 会員 島田純子様

<前回の記録>

第 2549 回 平成 30 年 3 月 15 日 木曜日
会員卓話 松森 薫会員・和田詠伸会員

司 会 進 行	西村 肇 SAA
点 鐘	西川 昇会長
ソ ン グ	郡上八幡ロータリーの歌
出 席 報 告	畑中伸夫担当責任者

会員数	出席	補正	合計	出席率
39 名 (免除 2 名)	27 名	6 名	33 名	89.2%

ニ コ B O X 廣瀬泰輔担当責任者

- ・卓話、雑談の延長です。眠っていて下さい。
松森 薫
- ・本日、卓話担当です。久しぶりでどきどきしています。
和田詠伸
- ・松森会員、和田会員、本日の卓話、ご苦労様です。よろしくお祈いします。
西川 昇
- ・和田君、松森君、卓話よろしくお祈いします。
岩尾 誠
- ・BMW (35 年乗っている車)、電気系統の故障が治り乗って来ました。
澤崎 茂
- ・夫人誕生日のお祝をありがとう。
松森 薫
- ・和田会員、松森会員、本日の卓話、よろしくお祈い致します。楽しみにしております。
畑中伸夫・羽田野優男・平岩憲政・廣瀬泰輔
岩出明喜・河合 修・川井昭司・國田大雄
松良 努・三原慎也・森下 光・村井義孝
村土時男・西村 肇・大畑於左武・大前正行
酒井智義・坂本 仁・澤崎 茂・竹内巧治
田代東次郎・渡邊 剛・山川直保

幹 事 報 告 岩尾 誠幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より、地区研修・協議会第一セッションについての事前問い合わせ
- ・地区青少年奉仕委員会より、青少年育成セミナー開催の案内…5/13 (日) 四日市商工会議所にて
- ・地区インターアクト委員会より、教師部会開催の案内
- ・各務原 RC より、「第 74 回グループゴルフ大会」開催の案内…5/21 (月) グリーンヒル関ゴルフ倶楽部にて
- ・各務原かかみの RC より、例会場変更のお知らせ
- ・関・関中央 RC より、例会変更の案内

<拝受>

- ・可児昌則次期ガバナー補佐より、チーム研修セミナー講演の資料
- ・米山奨学会より、「ハイライトよねやま 216 号」
- ・伊勢崎中央 RC より、お礼状

委 員 会 報 告

- ・河合 修情報担当責任者
今月の IDM について

会 長 の 時 間 西川 昇会長

ここ 2・3 日は大変暖かくなり過ごしやすくなってきました。こうした中、林会長エレクトは、先日研修に行かれたということで、来期に向けて前進してみえるようです。今期の各委員会におかれましては、活動計画に沿って順調に活動して頂いていますが、まだ成し遂げている行事がありましたら、今のうちに段取りをお願いします。特に親睦委員会には、最初から最後まで何かとご心労をおかけしますが、新会員歓迎会・水車の会・年度末懇親会などよろしくお祈いします。

会 員 卓 話 松森 薫会員

昨年秋に、私の姉が姉夫婦で旅行に行かないかと言われて、10 月末に 3 兄弟夫婦 6 人で行って来ました。台風 22 号が接近している時でした。行先は、やっと予約のとれた



という、中津川市加子母の温泉旅館「ランプの宿」です。途中通りかかったところで、ちょうど1年に1回の地歌舞伎をやっており、観に行きましたが、車がいっぱい近くまでは行けませんでした。その後、国道から枝道に入りました。10キロくらいまでは2車線の普通の道路でしたが、そのうちに山道に入り、電柱もないような狭い道をどんどん登ったら、今度は山道に似合わないような立派な橋があり、渡っていくときれいな滝が見えました。車を降りて見物して写真を撮りましたが、その頃はまだ小雨でした。それから雨がひどくなりましたが、注意深く山道を進むと、少し開けた所に5つくらいテントが張ってあり、何か不思議な風景でした。さらに奥に行くと、またどうしてこんな山道にと思うほどの立派な橋がありました。その橋を渡ってさらに大雨の中をゆっくり進むと、左に曲がれと案内があり、そちらに行くと、部屋はあるが玄関らしき所はなく、今度は右側に行くと杭を打った階段がありましたが、不安になって戻って、大雨の中、坂道を歩いて降りて行くとやっと玄関があり、駐車場は下にあるとのことでした。車を降りる頃は雨が一番ひどくて、歓迎されました。このまま雨が降ると、土砂崩れで通行止めの心配がありました。山道に入った時からすでに携帯電話は通じなくなっていて、天気予報・台風情報もわかりません。その宿は電気が来ていないのですが、午後5時から9時までには自家発電ではだか電球が灯りました。夕食は山菜・イワナの塩焼き・マスのさしみ等々で、特大の五平もちがありました。ビールは山水で冷やします。夕食後、ランプの取り扱い説明があり、火打ち石での火起こし体験、ロープの縛り方など、懐かしいゲームや体験ができました。昼過ぎに宿に着いて、部屋に入るとの歓迎はカメムシです。ガムテープが部屋に2-3個置いてあり、カメムシ取も体験できます。私たちは普段から慣れていますが、都会から来た人はびっくりするだろうと思いました。ここでは、トイレも昔ながらでした。翌日は台風一過で雨もあがり、土砂崩れもありませんでした。9時過ぎに宿を出るようと言われ、訳を聞くと、伊勢神宮のご神林選びの祭典があるからとのことでした。昨日のテントの所だそうです。関係者の車・マイクロバスなど20台が登ってくるので、すれ違えないからと言われました。この宿は、昔から営林署管轄の山で、その管理伐採の宿泊場所だったそうです。

話は変わりますが、新年の抱負で体重を減らすと言って、1月末にインフルエンザになり2kg痩せましたが、この冬の寒さで思った以上に歩けませんでした。昨年11月に、スレンダートーンというベルトを買い、最初はウェストが柔らかくなったのですが、体重は減りません。1カ月に1回、交換パッドが届きますが、3回目に届いたパッドは未だ開封していません。やはり楽しんで痩せられません。一応やる気はあるので、部屋にはルームランナーもあります。これは安いのにしたため、自力で動かすのですが、タイミングが悪いとうまく回転しません。ワンダーコアという、うしろに倒す器具は、勢

いよく体重をかけると目まいがします。ロデオボーイという乗馬器具もあります。その他に、足のステップ器、足を左右に広げる器具、ダンベル3kgと5kg、ぶらさがり器具など身近にありますが、あまり使わなくて効果がありません。今回、皆さんにここで公表したので、1年後を目指して頑張りたいと思います。

会員卓話 和田詠伸会員



私がクラブに登録している趣味は、スキーと音楽鑑賞です。本当のところ、出掛けて楽しむことは年に1回正月だけになっています。しかし、

スキー競技(特にアルペン種目ダウンヒル)観戦は、いまだに楽しくて仕方ありません。テレビでしか見ることはありませんが、あの迫力にはいつも圧倒されます。若いころはそのスーパースターの格好だけ真似して滑っていました。時速120kmを超えるスピードの競技ですが、私は50kmぐらいで格好つけて楽しんでいました。ターンするときの雪面を削る快感は説明が難しいです。40°近い急斜面での滑走はまるで空に飛び出すような快感があります。たいてい転びますが止まるまで運を山に任せていました。今年の正月もスキーをやってみました。もはや体力の限界、ターン1回するだけで足が悲鳴をあげるしだいで、あとはだらしなく滑り降りる始末です。大げがをしないうちにこの趣味は打ち切りとして、次年度趣味の登録は音楽鑑賞のみとさせていただきます。

音楽鑑賞は本当に楽しいです。最近、インターネット、特にユーチューブには昔の演奏が多く投稿されていて、30年以上前、FM放送で聞くことしかできなかった名演奏を今動画で見ることができるのです。これにはとても驚きましたし、当時ラジオで聞いて感動した演奏を見ることができたのです。特に感動した演奏を紹介しますと、ピアニスト、アルトゥール・ルービンシュタインの演奏の数々です。大作曲家のおなじみの曲ですが、なぜか何度も聞いてしまう不思議な魅力があります。言葉に表すことは困難です。ほかに、マルタ・アルゲリッチなる女流ピアニストの演奏も感動ものです。半信半疑で見ていると、その音色に引き込まれてしまいます。音の説明はこれまた困難です。音楽評論家の言葉を借りるわけにはいきません。

日本にも凄い音楽家がいることを再確認しました。その名はピアニスト辻井伸行です。以前から存在は知っていて記憶の片隅に置いていたのですが、これもユーチューブがきっかけで彼のファンになってしまいました。彼は全盲のピアニストです。作曲家でもあります。今日はその彼の作品の中の曲、タイトルは「いま日本は」を紹介します。

音楽は心のオアシスだと名言を吐いて私の前を立ち去った女性を今も覚えています。私は建物を設計する職業に就いているわけですが、創造思索をめぐらすために心のよりどころとなっています。白紙の状態から建物を創造するときの手助けになくはならないものになっています。